



購入した非常食と救急ボックス

【答】（政策推進課）

町では桜まつりの時に入園券に未病の関係の普及啓発のメッセージを添えることで、それに対してかかった経費の3分の1、上限50万円という形で実行委員会のほうから頂いている。

【質】 地域コミュニティ活動交付金はどんなものに

使われているのか。

すべての自治会でふれあい会はやっているのか。

【答】（総務課）

コミュニティ交付金は26の自治会で活用している。

ふれあい会は地域福祉の観点から各自治会の自主的な運営に基づく活動である。

防災・定住・財産

【質】 防災資機材等整備事業で260万円と載っているが、どのようなものを購入されたのか。また非常食はどのようなものを備えているのか。

【答】（安全防災担当室）

非常食と飲料水の購入が主な部分である。その他に防災ヘルメット、AED、医薬品等を購入している。

【質】 町非常備消防団は129名で前年度比8名減っているが、消防団員を補充する必要があるかと思うが。

【答】（安全防災担当室）

5年度は126名となり、少しずつ減っている。募集の改善は、消防団に頼るのみならず、町の広報、広く様々な手段を使って消防団員を募集する。

【質】 ふるさと納税の管理経費4892万円が前年比で若干減っている。ふるさと納税の状況、ふるさと納税の対象品と返礼品等はどうのように推移しているのか。

【答】（定住少子化担当室）

寄附金に応じて返礼品をお渡しするので、寄附金の総額自体が減少し、この管理経費も同様となっている。返礼品はお肉が好調であり、また、ゴルフ場に設置したふるさと納税対応型自販機によるふるさと納税も伸びている。

【質】 公有財産家屋購入費594万円が支出され町屋の家屋分と説明されたが、どついう意味か詳細の説明を求める。

【答】（政策推進課）

住宅整備事業建設経費

【質】 松田庶子線（酒匂川左岸道路）道路設計委託料850万円の内容は。

【答】（まちづくり課）

将来交通量の推計や、酒匂川左岸道路にある橋の耐荷重の照査を実施した。さらに、新十文字橋下を通る町道2-1号線の拡幅検討など大きく3点の照査や検討を実施している。

ということ、当初PF1で行った町屋住宅と籠場住宅は建設費の一部を民間の資金を活用して行った事業である。その率により毎年工事費の割賦分を経費として支払っている。

【答】（まちづくり課）

然るべきだと思うが。町の見解は。

【答】（副町長）

この事業はどちらかというと再開発事業の支援が主なところである。途中経過は確認しているが、皆さんにお見せできる資料として整った段階でこの説明させていただきたいと思っている。

【答】（まちづくり課）

国の補助率が不安定な傾向にあり、物価や資材高騰を含めて将来的に費用の増加も想定されるため、今後、検討の必要性がある。今まで示した数字と変わった内容については、事業の進捗に合わせて然るべきタイミングでお示すると共に、基金の方も考えていく。

【質】 代表監査委員より特産品開発事業の補助金の審査基準見直しを指摘されているが、今までの特産品開発事業補助金の経緯と、今後見直しをされるのか、考えを伺う。

【答】（観光経済課）

桜まつりにおける来町者に販売できるものが少ないことから商品の数を増やすため、平成22年から始まり、最初は寄の養魚組合で行われているさくらマスなどを支援した補助金制度だが時代の変化も踏まえ見直す方向である。

まちづくり・産業